

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	歴史を学ぶ						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	2・3年前期		
必修・選択の別	自由科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース) 選択科目(デザインコース)						
担当者	川上 秀人						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が流れていることを認識する。(A1) ・種々のできごとは多くの要素で構成されていることを知る。(A1) ・要素の軽重によって取捨選択していることを認識する。(A1) ・自分の中の歴史に気づく。(A1) 						
日程と内容	4/9 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/16 歴史とは何か 4/23 分類すること 4/30 小論文の書き方 5/7 書き手と読み手 5/14 見るということ 5/21 就職するということ 5/28 文化とは何か 6/4 選択すること 6/11 考える力 6/18 アイデアの発想 6/25 読書の方法 7/2 穴について 7/9 歴史的な位置 7/16 定期試験 7/23 総括						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が流れていることを認識する。(A1):達成した ・種々のできごとは多くの要素で構成されていることを知る。(A1):達成した ・要素の軽重によって取捨選択していることを認識する。(A1):達成した ・自分の中の歴史に気づく。(A1):達成した 						
反省点	翌々週の授業内容をレポート(全5回)として提示して、自己学習の目標を定めた。受講生の記述した内容を踏まえて講義を進めたので、理解はできたと思われる。						
来年度の計画	レポートを中心に事前学習の内容を提示する方法は継続していく。出席の代わりにSPIテストを使用していることも継続したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.0で、全体の平均値8.0に同じである。授業の環境はいつも評価が高い。一方、学生自身の予習・復習の自己評価は3.0で、全体の平均値3.6を下回っている。1時間限目の学生と比較して、真面目であり、かつ自分自身の評価にかなり厳しい姿勢が窺われる。						
履修登録者数	31名	定期試験 受験者数	18名	合格者数	15名	合格率	83%